

健康への

メッセージ

シリーズ 104

往診今昔

東陽病院副院長 伊藤 文憲

平成4年4月より訪問診療が健康保険の対象になり、在宅のまま医師・看護師等が訪問して治療を行うことが可能となりました。以前にはボランティア的に行われていましたが、この制度は新しいことではなく昔の往診と変わりません。

昔は熱が出たり、腹痛が強い時には開業医が往診して手持ちの薬を処方してくれました。30年前に、ある町の病院で往診をしました。大きな鞆を持った看護師さんとタクシーに乗って20から30軒まわる。どこの家でも寝たきりの患者は、奥のあまり陽の入らない部屋の万年床に寝ていました。60才代が主で70才以上はまれでした。診察をした後に投薬の指示を出し、腰痛の患者には鎮痛剤やビタミン剤の筋注を行っていました。

現在の『往診』は少なくとも月に1回は医師が、その他に随時看護師が訪問します。寝たきり状態で内科・整形外科の患者さんがほとんどです。患者さんの状態の把握、尿路のカテーテルの管理、皮膚の褥創の治療などの多くの医療行為が必要とされます。リハビリが必要な場合には理学療法士が、また放射線技師が携帯用の装置で撮影することもあります。医療側のマン・パワーの充実が必要不可欠です。

最近の在宅患者さんは明るい部屋で、起立可能な電動ベッドに生活していることが多く30年前とは比較になりません。平成12年から介護保険が始まり、デイサービスやショートステイ、在宅入浴サービスなどいろいろのサービスが増えました。在宅で治療を受けられるのが良いことだとは思いますが、しかし都市部においては核家族化が進み、病人と高齢の配偶者だけで

生活している例が多く、子供と同居していても夫婦とも仕事をもち昼は二人きりになる家庭が多い。介護者が無くては在宅医療は不可能です。

昨年10月より東陽病院に転勤となりました。ここでも平成9年7月から訪問診療を行っています。船橋市に比べて当地は核家族は少なく、老人の部屋も十分に確保されています。道路の渋滞が少なく一日に数件を往診できます。いつもは平日の午後1時に定時の往診をしています。具合が悪い時には臨時の往診もします。希望があれば在宅で臨終を迎えるケースもあります。これからは通院困難な患者さんには入院治療のみならず訪問診療という方法もあることを念頭に入れてください。

10年前には通院患者さんに80才代は珍しかった。今では90才代が徐々に増えていきます。しかし、あと10年後に100才以上が多くなるかというところは難しい。医学の進歩により将来は誰もが高齢化し、いつか寝たきりになる可能性を秘めています。医療側・介護者側の双方にとって在宅医療にはまだまだ解決すべきハードルが多いと思われます。

今回は実際に訪問看護を行っている保健師・看護師からの報告の予定です。

※東陽病院の休日当番日

7月7日(日)・20日(祝)・8月11日(日) 午前9時～午後5時
医師2名が待機・来院の際は電話を ☎0413335

『母親学級』開催
日時 7月26日(金)
午後2時から4時
場所 東陽病院2階
産婦人科外来
対象 制限はありません

夏休み特別映画会

楽しい映画が盛りだくさん みんなそろって図書館に行こう！

日 付	内 容	開催時間	備 考
7月20日(土)・21日(日) 23日(火)・24日(水) 25日(木)・26日(金)	ビデオ上映会 「キャプテン翼」	午前10時～正午	入場自由
7月28日(日)	夏休み映画会1 「クロがいた夏」	午前10時	7月6日(土)から 整理券配布
7月30日(火)・31日(水) 8月1日(木)	ビデオ上映会 「キャプテン翼」	午前10時～正午	入場自由
8月11日(日)	夏休み映画会2 「はだしのゲン」	午前10時	7月20日(土)から 整理券配布
8月18日(日)	サマーシアター 「ゴジラ・モスラ・キング ギドラ大怪獣総攻撃」	1回目午前10時 2回目午後2時	7月28日(日)から 整理券配布

ほんの

森

＝町立図書館＝
☎043311

『鬼来迎展』

7/30(火)～8/16(金)



図書館
1階
ロビー
にて

鬼来迎

(国指定重要無形民俗文化財)

7月の休館日

8日(月)、9日(火)、10日(水)、15日(月)、22日(月)、29日(月)